

鯖江市議会報

第256号

令和8年
2月25日発行

【今号の表紙】

『レッサーパンダとハイチーズ』

もっちーさん提供

西山動物園 子ども向けプログラム

鯖江市議会を
もっと詳しく!



■ 決算特別委員会	2
～私たちの税金はどう使われた?～	
■ 第453回12月定例会	4
■ ここが聞きたい! 代表質問	10
■ ここが聞きたい! 一般質問	12
■ 第454回1月臨時会	18

総括審査の内容(一部)

各分科会において詳細な審査を行った後、総括審査を開催しました。

総務分科会

DX推進に向け、業務量調査や業務見直しを実施する考えは？

Q 鯖江市では人口減少や職員減、業務量増加、デジタル化推進など複合課題への対応が急務で、職員負担軽減と業務効率化が重要。沖縄県南城市では業務量調査を基にシステム導入や業務廃止、アウトソーシングを進めており、成果が期待されている。鯖江市でもDX推進のため、全庁的な業務量調査や業務見直しを行い、その結果を踏まえたデジタル化を進めるべきだが、調査や見直しを実施する考えは。

A 人口減少や人手不足、業務複雑化に対応し行政サービスを維持するため、自治体DXは不可欠。DX推進には業務改革とサービスの抜本的見直しが重要で、デジタル技術を活用し効率化を図ることで、限られた職員でも持続可能な運営が可能となる。市はDX基本方針に基づき、業務自動化や電子申請導入のほか、AI研修などを実施。今後は業務量調査や業務見直しを進め、外部委託の費用対効果や内製化も検討し、職員の意識改革と組織改革を通じてDX推進に全力で取り組む。

産業建設分科会

食育推進のため、予算拡大や事業拡充の方針は？

Q 食育の推進は「食」や将来の農業を守ることにつながる。市では食育関連の事業を実施しているが、決算額は小規模にとどまっている。今後は、食育推進を強化するため、予算規模を拡大し事業を充実させることが望ましいが、その方針はどうか。

A 市は「食でつながる みんなのさばえ」を理念に、学校での味覚・出汁授業や農業体験、地場産給食の日などを実施し、地域と連携した特色ある食育も展開。こうした取組は国から評価され、農林水産大臣賞を受賞。さらに、市民向けにSNS発信、伝統食文化動画など幅広い食育を推進。これらは郷土愛や地産地消を促し、持続可能な農業にもつながる重要な取組であり、市民の協力で支えられ大きな予算をかけずに実現してきた。今後も市民協力を基盤に、効果的な取組を予算措置も含め検討していく。

教育民生分科会

不登校防止のための学校支援事業の現場での取組と成果は？

Q 不登校児童・生徒への居場所や学びの場を提供する「鯖江チャイルド」は大きな成果を挙げているが、不登校の未然防止はさらに重要。市はスクールカウンセラーやソーシャルワーカー、学習支援員を配置する事業を実施しており、事務事業評価はA評価。学校現場での取組と成果についての所見を問う。

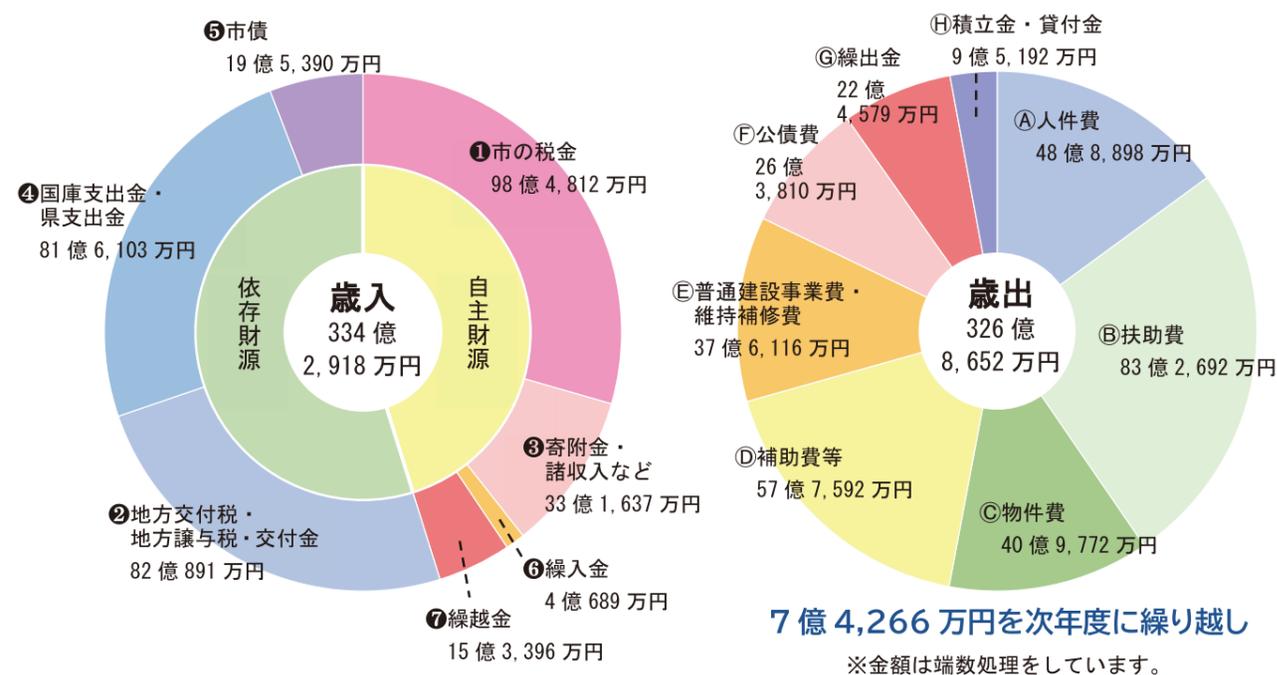
A 市は不登校未然防止のため、スクールカウンセラー等の配置に加え、全校で「ポジティブ教育」を推進。小学校では、教室に入れない児童への支援としてAIロボット「LOVOT」を7校に導入し、中学校では、タブレットを使って、その日の気持ちを天気例えて報告する仕組みを導入。さらに、子どもの主体性を育むため「こども予算」で子ども発案の企画を支援。これらの取組により、令和6年度は不登校者数が県全体で過去最多となる中、本市では前年度比3人減の155人に。月5日以上欠席者も4～10月で平均約20人減少するなど成果が出ている。

前年度の予算執行が適切で効率的に行われたかを審査しました。総括審査の様子は右のQRコードからYouTubeでご覧いただけます。



一般会計

税金などを財源とし、福祉や教育、まちづくりなど市の基本的な行政サービスを行うための会計です。このほかに、特別会計(国民健康保険事業特別会計など)、企業会計(水道事業会計など)があります。



鯖江さん家の家計簿



一般家庭の家計簿に例えてみました。

<年間収入 668万円>		<年間支出 654万円>	
① 給料(基本給) 市の税金	197万円	④ 食費 人件費	98万円
② 給料(諸手当) 地方交付税・地方譲与税・交付金	164万円	⑤ 医療費・介護費など 扶助費	167万円
③ 副業収入 寄附金・諸収入など	66万円	⑥ 光熱水費・日用品など 物件費	82万円
④ 親からの援助 国庫支出金・県支出金	163万円	⑦ 町内会費・税金など 補助費等	115万円
⑤ ローン(借入金) 市債	39万円	⑧ 家の改修・車の修理代など 普通建設事業費・維持補修費	75万円
⑥ ⑦ 貯金の切り崩し 繰入金、繰越金	39万円	⑨ ローンの返済 公債費	53万円
		⑩ 子どもへの仕送り 繰出金	45万円
		⑪ 貯金・その他 積立金・貸付金	19万円

収入 668万円 - 支出 654万円 = 14万円の黒字 ※金額は予算額の5,000分の1で計算し、端数処理をしています。

■ 議案第91号 令和7年度鯖江市一般会計補正予算(第6号)・・・2億4,620万円

物価高対策として国が実施する、子育て世帯への手当の支給に係る予算

【支給対象者】

- ・児童手当支給対象児童(令和7年9月30日時点)を養育する父母等
- ・令和7年10月1日～令和8年3月31日までに生まれる新生児を養育する父母等

【支給額】子ども1人当たり20,000円

【支給方法】

- ① 市から児童手当を受給している父母等は申請不要で、児童手当受給口座へ支給予定
- ② ①以外の父母等は申請が必要

【スケジュール】 1月：①、②個別通知・案内発送

2月：①支給開始

3月：②要申請者支給



主な議案【条例の制定】

■ 議案第75号 鯖江市乳児等通園支援事業の設備および運営に関する基準を定める条例の制定について

【目的】乳児等通園支援事業(こども誰でも通園制度)を利用する乳幼児が、明るく衛生的な環境の中で専門的な支援を受け、心身ともに健やかに成長できるよう、設備・運営に関する最低基準を定める。

【主な内容】

- 設備基準 … 乳児室や、ほふく室の面積、採光や換気・衛生管理・危害防止のための構造設備
- 職員基準 … 必要な職員数や保育士の割合、職員の資質向上のための研修義務
- 安全確保 … 非常災害対策、避難訓練、安全計画の策定と周知、送迎時の所在確認の義務付け

【スケジュール】 1月：市民への事前周知

2月：鯖江市子ども・子育て会議での意見聴取(事業実施に係る認可手続)

4月：事業開始

議案へのQ&A



議案第69号 令和7年度鯖江市一般会計補正予算(第4号)

Q 中小企業融資利子等補給事業の内容は？

中小企業支援策として、以下の3点を実施。

1. 保証料補給の新設(県の保証料補給への上乗せ)
2. 利子補給の拡充(貸出利子相当額の全額補給)
3. 保証料補給要件の緩和(売上高に加え、営業利益や利益率の減少も対象とする)

議案第79号 鯖江市水道事業給水条例および下水道条例の一部改正

Q 改正の目的と内容は？

災害等非常時に給水装置工事や排水設備工事の事業者を確保し、宅内施設の早期復旧を図るため、災害その他非常の場合に市長が認めるときは、他自治体で指定を受けた業者も宅内給水・排水工事を行えるようにするための改正。

Q なぜ今改正するのか？

能登半島地震を受け、国からの通知があったため。

12月定例会では、市提出議案23件を可決し、決算議案8件を認定、人事案件1件に同意しました。

主な議案【補正予算】

■ 議案第69号 令和7年度鯖江市一般会計補正予算(第4号)・・・7億5,600万円

主な事業	補正額 ※端数処理をしています。	主な内容
長寿命化・施設整備事業 	5億5,442万円	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中央中学校・東陽中学校の体育館空調・電気設備等の整備【スケジュール】 改修工事：R8.2～R8.12 ○ ハローワークプラザさばえをワイプラザ鯖江店内に移転するために必要なスペースを確保する工事【スケジュール】 改修工事：R8.1～R8.3 ○ 三床山登山口に水洗式トイレを新設するための実施設計【スケジュール】 実施設計：R8.1～R8.3 整備工事：R8.7～
物価高騰対策事業 	604万円	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市内に住所を置く小中学校児童生徒一人につき1,000円の給食費への追加補助(中学校は保護者負担分の1,000円減額) ○ 市内保育所等に通う3歳以上児一人につき500円の給食材料費の追加支援 ○ 市内中小企業が制度融資を受けた際の利子補給・保証料補給の新設・拡充
補助金等	249万円	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域包括支援センターのICT環境整備のための補助 ○ 合併処理浄化槽の設置補助
人件費関係	1億1,762万円	○ 人事院勧告に基づく給与引上げに伴う予算調整
その他 	7,543万円	<ul style="list-style-type: none"> ○ スマホ型端末を利用したインターネット型の電話システムに移行するための業務委託 ○ 被保護者数の増加等による生活保護扶助費の追加 ○ 鯖江・丹生消防組合における追加補正による消防組合負担金の追加

■ 議案第90号 令和7年度鯖江市一般会計補正予算(第5号)・・・2,300万円

福井県知事の辞職に伴い、福井県知事選挙を執行するための事務諸経費

【議案第82号】鯖江市環境教育支援センターにおける指定管理者の指定について

指定管理者制度における課題認識と今後の制度運用の考え方

説明 募集期間内に1団体から応募があり、選定委員会を経て、特定非営利活動法人エコプラザさばえを指定する。前回公募時の仕様においては、17事業を設定していたが、類似性の高い9事業を4事業に統合、また、費用対効果が薄い2事業を廃止するなど10事業に集約することで、受託者には柔軟かつ効果的な運営や新たな事業を実施してほしいと考えている。

意見 今回の案件について、応募者が1者のみであったことから、競争が生じず、経費縮減に関する審査が行われていない。これまで応募条件を鯖江市内に限定してきたが、より多様な提案を受けるためには、応募の閾口を広げるべきである。さらに、事業の集約によって生じた時間や人員を有効に活用して、事業の実施方法にどう工夫を加えるのか、また、新たな自主事業の展開をどのように図るのか、といった、具体的な実施計画を提示してもらう必要がある。このような手順を踏んだ上で、選考委員会の審査においては、より強く踏み込んだ精査を行うべき。



環境教育支援センター

問 当市においては、公募しても1者しか応募がないといった指定管理者制度全体の課題が依然として存在する。応募が1者の場合、施設維持、管理に係る経費縮減の審査項目は、審査が除外されるということ。また、そもそも競争相手が存在しない中での選考委員会における審査自体が困難になったり、その必要性も薄らいでいったりすることにならないのか。今後、当市の指定管理者制度をどのように考えているのか。

答 指定管理者制度が導入されて20年が経過し、そういった課題があることは十分に認識している。来年度は指定管理者の更新が1施設もないことから、先進自治体の工夫している事例を研究するなど、できるだけ早い時期に、今後どうしていくことが望ましいのかといった方針を見極めていきたい。

産業建設委員会

【議案第69号】令和7年度鯖江市一般会計補正予算（第4号）

約1,534万円

伝統工芸職人塾の実績と今後の支援について

説明 丹南地域の5つの伝統工芸産地組合と県・市町が連携して後継者育成を行う伝統工芸職人塾について、令和8年度の募集を早期に開始するため、債務負担行為を設定する。長期職人塾に入塾する研修従事者の住居費などの生活費、研修に用いる材料費、研修受入先への謝礼などを補助対象経費とし、県と市町が2分の1ずつ負担する。職人塾は、各産地組合に市域をまたいで会員がいることもあり、事業所が所在する市町で支援することになっている。

問 この事業の過去の実績について、職人塾を経て独立された方や、現在もその技術を生かして、市内で仕事を続けている方の人数は。

答 過去に、越前漆器において19名がこの職人塾を受講し、そのうち15名が現在も市内で職人として従事されており、1名は独立し、市内にご自身の工房を構えられている。

意見 職人塾の成果については、一定の割合で良好な結果が得られており、後継者が職人として市に定着する第一歩として、着実に成果が上がっていると感じる。独立に向けた支援なども今後検討してもらいたい。



漆器の製造工程

議案に関する委員会審議

各委員会では、委員会に付託された議案を審議しました。



総務委員会

【議案第69号】令和7年度鯖江市一般会計補正予算（第4号）

約929万円

電話機のスマートフォン化に伴う経費見込みと業務改善効果

説明 現在の電話交換機が、今年度で耐用年数の8年を迎えることに加え、音質不良や一部電話機に不具合が発生していることから、業務効率化や災害時の柔軟な対応などを可能にする仕組みに更新する。具体的には、NTT西日本が提供するクラウド型電話交換機をインターネット回線で利用するとともに、電話機をスマートフォンに変更することで、外部からの着信や発信、また、職員間通話を外出先でも行うことができるようになる。本庁舎、アイアイ鯖江、文化の館、まなべの館の正職員を対象に、合計450台を導入し、対象職員向けに、実際に機器を用いた説明会を実施した上で、来年度4月から本格運用を開始する予定。

問 電話機をスマートフォンに変更した場合、将来的に費用が増加するのではないかと思われるが、現在と比べて、どの程度のコスト増減を想定しているのか。

答 既存の電話交換機と固定電話を耐用年数である8年間使用した場合の通話料を含めた1年当たりの経費が、約1,700万円に対し、今回想定している更新では、1年当たり約2,250万円で、およそ600万円の増額を見込んでいる。通話料については、運用後でないと分からない不確定な要素はあるが、今回の更新においては、コスト増となるが、単にコスト比較だけを考えるのではなく、お客様からの電話を担当部署や、会議等で執務室にいない職員に転送する際、何度もかけ直すことが少なくなることに加え、新たに、通話履歴の確認や通話録音ができるようになることで、問合せ内容を正確に把握、共有することが可能になるなどのメリットが多く職員の業務効率化や市民サービスの向上を主眼に置いた更新につなげていきたいと考えている。

【議案第80号】鯖江市嚮陽会館等における指定管理者の指定の期間の変更について

貸館業務停止期間の指定管理業務内容と指定管理料の考え方

説明 嚮陽会館は、令和8年7月から複合交流施設整備に係る工事開始を予定しており、それまでの間、新たな公募や市直営での管理が困難であることから、現行の指定管理者による管理運営を継続し、指定管理期間を3か月延長する。また、5月末で貸館業務は終了。6月から休館とし、6月末をもって指定管理期間を終了する。

問 6月1日から休館となれば、その月は貸館業務を行う必要はなくなるなど、指定管理業務の内容が変わると思われる。6月中に想定している指定管理業務とは何か。また、6月の1か月分の指定管理料については、単に年間基本額の月割り額か、それとも別に算出するのか。

答 休館中の6月は貸館業務は行わないが、施設本体の管理やふれあい広場駐車場を含めた駐車場の管理業務は継続してもらう。また、耐用年数を超えた備品の廃棄のほか、活用できる備品については搬出作業を行うなど、直営体制にて工事に着手するための移行期間として考えている。なお、指定管理期間の延長という趣旨から、指定管理業務の内容変更による指定管理料の変更は考えておらず、年間基本額の月割り額とする。

響陽会館複合交流施設整備特別委員会

【議案第69号】令和7年度鯖江市一般会計補正予算（第4号）

1,330万円

ハローワークプラザさばえ移転に伴う工事負担および事業全体の考え方について

説明 さきの9月補正予算における、響陽会館内にある「ハローワークプラザさばえ」を西側に隣接する「ワイプラザ鯖江店内」へ移転することに係る実施設計に伴い、今回、その整備に要する工事費を見込んだもの。また、整備に際して心配していた、建材へのアスベストの含有については、検査の結果、認められなかった。

問 今回の工事については、全て鯖江市が行うのか、または、店舗側で行う部分もあるのか。

答 「ハローワークプラザさばえ」が移転する今回のテナント部分の工事は、全て市で負担する。

問 資材価格や人件費が高騰している状況であるが、今後、工事費が増えていくという懸念はないのか。

答 実施設計において、物価高騰の部分も組み込んであるため、これ以上、工事費が増えることはないと認識している。

問 ハローワークを鯖江市において、永年的に事業を継続してもらう方向で考えている、ということは理解するが、一般的に、他人の土地に建物を建てる場合、後にそれが不要となったときに、建物を取り壊す、または原状復帰の費用を負担するのは誰であるかを決めておくべきである。本来であれば、今回、工事を行う前にそれを決定し、示しておくべきではないのか。

答 委員の指摘のとおりである。撤退時の費用については、基本的には原因者負担という形になると考える。どのような原因で事業が終了となるのかということも想定しながら、ハローワークと、またワイプラザ鯖江店を運営されている株式会社ヤスサキと協議し、契約を結びたいと考えている。

問 使用料については、ハローワークが市に納入し、そして市がヤスサキ側に支払う、という流れになるとのことだが、この使用料も含めた覚書もしくは契約については、現段階で示されるべきものであると思うが、どのように考えているのか。

答 本来であれば、そのような形が望ましいと考えているため、できるだけ早く示せるよう準備を進めたい。

問 ハローワークが移転した後、最終的には、響陽会館との連絡通路を整備することになっている。連絡通路を整備するということは、自由に行き来することができるようになり、ハローワークと響陽会館が一体的なものになるということである。市とハローワーク・株式会社ヤスサキとの3者の協議の方向性や全体像が示されない中で、今回の工事予算についての議案審査をすることは困難である。本来なら、予算の審議前に示されるべきではなかったのか、との強い思いがある。

答 株式会社ヤスサキとは、地域の活性化や魅力発信、SDGsの推進など、包括的な協定を考えているが、再度、委員会の意見も踏まえ検討を重ね、1月中には示せるようにしたい。



条件付き賛成

株式会社ヤスサキとの協定等の内容、響陽会館複合交流施設整備の予算概要、将来必要となる予算概要等について、1月中に本委員会に示すこと。

議案に関する委員会審議

各委員会では、委員会に付託された議案を審議しました。



教育民生委員会

【議案第69号】令和7年度鯖江市一般会計補正予算（第4号）

5,840万円

生活保護扶助費の増額について

説明 この事業は、資産や働く能力など、活用し得るすべてを活用しても、なお生活ができない場合に実施され、その困窮の程度に応じて保護費を支給するもの。増額の主な理由としては、被保護者数が増加しており、9月末現在では143人、世帯数で123世帯の方が生活保護を受給されており、前年度同時期と比較して25人増で17世帯増となっている。これに伴い、主に生活扶助、住宅扶助、医療扶助が増加した。

問 どのような世帯の生活保護受給者が増加したのか。

答 生活保護の世帯類型には、高齢者世帯、母子世帯、障がい者世帯、傷病者世帯があり、これらのいずれにも該当しない、その他世帯が増加している。例えとして、障害者手帳交付の対象にはならないが、疾患により就労収入が少ない世帯や、預貯金が減少し、就労収入だけでは生活できず、生活保護を受給する世帯が増えてきており、比較的若い世帯が増加傾向にある。



増加する生活保護世帯

【議案第69号】令和7年度鯖江市一般会計補正予算（第4号）

5億3,900万円

中央中学校および東陽中学校の空調設備整備について

説明 中央中学校および東陽中学校の空調設備整備に係る工事費および監理業務委託費。近年の猛暑による熱中症や体調不良が生徒や教員の学校生活において深刻な問題となっている。快適な学習環境を整え、授業が気温に左右されず計画的に進められるよう、また大規模災害時の避難所としても活用される体育館等への空調設備を整備する。整備の対象は、体育館、武道館、空調未設置の特別教室で、避難所としての機能強化も踏まえた改修を行う。

問 なぜ、12月定例会における補正予算とするのか。

答 生徒たちの学習に影響のないように、工事期間を夏休みとするための準備期間を確保する、という理由からこの時期となった。



整備対象となっている東陽中学校の体育館



はやしした とよひこ
林下 豊彦 (新清風会)



佐々木市長の今後のビジョンについて

問 市ホームページの市長の部屋には「笑顔があふれる「めがねのまちさばえ」をつくる」と書いてある。企業の場合には、目標や理念により企業の存在意義や行動指針を明文化し、業務上の意思決定の重要な基準になるとともに、組織の一体感を生み、社会からの信頼も得ることができる。笑顔があふれるめがねのまちを目標としていることは理解したが、職員が取る行動の指針となる企業理念のような理念はあるのか。

答 市長 私の市政目標である「笑顔があふれる「めがねのまちさばえ」をつくる」が理念である。これの実現に向け、市民の声に真摯に耳を傾けながら、市民の皆様、議会の皆様、そして職員と共に、チーム鯖江で一丸となって取り組んでいく。

今後の公共施設整備の方針について

問 鯖江市公共施設等総合管理計画では、現在保有している施設を同規模同水準で更新をしていくことは財政的に非常に困難な状況であると分析している。今後、長寿命化や複合化に取り組むためのビジョンは。



いしかわ おさむ
石川 修 (市民創世会)



詳細は、右上のQRコードから
YouTubeでご覧ください。



1. 少子化対策について

- ・来年度の子育て政策と予算
- ・子育ての負担軽減
- ・2050年の人口と住民税の予想
- ・市の方針および施策の転換

2. 物価高対策について

- ・国と市の対策
- ・米生産と適正価格
- ・賃金と企業の現状
- ・企業への補助と施策

3. 令和8年度予算について

4. DXの推進について

- ・業務量調査の実施
- ・業務改革と組織改革
- ・デジタル推進課の機能強化と体制整備

答 市長 子どもたちや保護者、様々な世代の方の交流とつながりを持てる居場所づくりを優先して進めている。市民が安心して集い、笑顔があふれる場を持続可能な形で提供することをビジョンとし、安全性の確保、官民の役割分担を見定めながら集約化をして長期的な財政平準化を考えて取り組む。

メガネ産業への支援について

問 眼鏡協会では「MADE IN JAPAN, 風土 IN JAPAN」という眼鏡産地のブランド価値を高め地域活性化を目指すキャンペーンを行っている。来年から新しくなる展示会への支援も含め、眼鏡産業全体への支援に対するビジョンは。

答 市長 眼鏡産業は「めがねのまちさばえ」を体現する象徴的な存在であり、地域の誇りである。品質と信頼を未来へ継承する意義深い取組であり、その趣旨に深く共感し、引き続き積極的に支援していく。新たな展示会についても、企業にとっては重要な商談機会であり、眼鏡協会を通じた支援、個社企業への支援に引き続き全力で取り組む。

意見 市長が考えるビジョンや目指す方向を職員と共有することで組織の一体感をつくり、社会からの信頼を得ながら市の施策を推し進めてほしい。

5. 職員人事について

- ・管理職の人事の在り方
- ・職員採用の在り方

6. 北陸新幹線について

- ・大阪延伸の現状に対する見解
- ・今後の鯖江市の考えと行動

7. 治水対策について

- ・神通川の整備計画
- ・日野川のしゅんせつ計画

8. 鳥獣害対策について

- ・今後の対策の在り方
- ・新たな対策の在り方

9. 上水道事業について

- ・老朽管の更新

10. 部活動の地域展開について

11. 神明苑について

- ・整備の予定
- ・整備への提案

ここが聞きたい!

代表質問

代表質問とは?

市の様々な課題等について、議員が会派を代表し、市長や理事者に考えを聞くものです。毎年12月定例会にて、3名以上の議員が所属する会派が質問します。

ページ	会派	質問者	質問内容	日程
P.10	さばえ結の会	三村 尚司	1. 物価高騰対策について 2. 公共施設等総合管理計画について 3. 令和8年度当初予算編成について 4. 山梨県甲府市との連携について 5. ふるさと納税について 6. <u>地域資源を活用したまちづくりについて</u>	12/8 午前
P.11	新清風会	林下 豊彦	1. 佐々木市長の2期目のこれまでについて 2. <u>佐々木市長の今後のビジョンについて</u>	12/8 午後
	市民創世会	石川 修	1. 少子化対策について 2. 物価高対策について 3. 令和8年度予算について 4. DXの推進について 5. 職員人事について 6. 北陸新幹線について 7. 治水対策について 8. 鳥獣害対策について 9. 上水道事業について 10. 部活動の地域展開について 11. 神明苑について	

※質問内容のうち、青字で下線が引かれたタイトルは、以下に詳細を掲載しています。



みむら しょうじ
三村 尚司 (さばえ結の会)



地域資源を活用したまちづくりについて

問 点から面へのにぎわいづくりを進めるに当たり、地域の思いを実現するためには官民連携を一層強化していくことが重要だと考える。中心市街地の活性化やにぎわいの創出に対する市長の思いと実現に向けた意気込みは。また、今後どのような支援を行い、どのぐらいの期間をかけて取り組むのか。

答 副市長 全国的な人口減少・少子高齢化に伴い、中心市街地の空洞化が課題となっている。本市でも、まちなかに人を呼び戻し、持続的な活力を生み出すことが求められている。市の歴史文化やものづくり産業、市民力などの豊かな地域資源を結びつけ、新たな価値とにぎわいを創出することが今後のまちづくりの核心であると考え。11月に鯖江まちなか交流・にぎわい協議会を設立し、今後、地域資源の再評価や課題整理を進めていく。また、令和9年3月をめどに官民連携のアクションプログラムを策定し、その後5年間をかけて事業を着実に推進したいと考えている。推進体制と財源を確保し、環境整備や情報提供など、必要な支援を行っていく。

問 神明地区には、国指定重要文化財の旧瓜生家住宅、円墳としては北陸最大級の兜山古墳、赤レンガ門が残る三六公園など、大きな可能性を含めた地域資源が多数あり、これらを面として結びつけることで、周遊や散策につなげることができるかと考える。神明苑の再整備を軸としたエリアの再構築として、岡山県倉敷市の児島ゾーンズストリートのような「メガネストリート」を官民一体となって整備していくという考えは。

答 市長 これまで、鯖江駅からめがねミュージアムまでのメガネストリート、河和田地区の軒下工房、RENEWなど、地域ブランド向上への取組を行っており、工房ショップの開業なども進んできた。産業資源と地域資源を融合させる考えは、極めて意義深いものと受け止めており、今後は業界団体の方との連携を深めながら、体験・交流・発信の場をつくり出し、ゾーンズストリートに少しでも近づけていけるように、官民一体となって魅力のあるまちづくりを進めていきたい。



10月に開催された RENEW 2025の様子



さかい ゆきこ
酒井 友季子 (ふくの党・鯖江)



いじめ問題の対応と教職員の負担軽減について

問 多様化したいじめに対し、国のSNS対応マニュアルを活用して、誰もが相談できる様々な相談窓口について周知してはどうか。

答 このような国や県の制度の周知は必要であると考え。今後はより分かりやすく、利用しやすいように周知方法を工夫していきたい。

問 いじめ問題に対応する教職員の疲弊や離職が全国的な問題となっている。鯖江市でも先生の負担軽減のために、奈良県天理市などを参考に、保護者からの一元化相談窓口を設置してはどうか。



かとう まさる
加藤 優 (公明党)



選ばれる鯖江市になるためのビジョンについて

問 鯖江市の未来ビジョン(選ばれるまち)は。

答 市長 市政運営において「ワクワク子育て日本一」を掲げ、子育て世代が安心して暮らせる環境づくりに取り組んでいる。もう一つの柱は、「市民主役で日本一活気あるまち」。他のまちにはない魅力をつくることで、人が集い、鯖江で家族をつくりたいと思ってもらえることが、選ばれるまちになることだと考える。

小・中学校におけるのがん教育について

問 市での現状は。

答 学習指導要領に基づき、児童・生徒ががんに関する正し



ほりかわ ひでき
堀川 秀樹 (さばえ結の会)



越前漆器「継ぐ×創る」プロジェクトについて

問 このプロジェクトの結果、ふるさと納税や販路拡大、若年層へのPRにつながるなど、一定の成果が出たと思うが、来年度も同様の施策を行うのか。

答 市長 一定の効果は出ており、継続して実施することでさらなる効果が期待できると考えている。関係機関と協力し、プロジェクトの実施継続も含め、越前漆器の振興策に取り組んでいきたい。



越前漆器の技と美を体験できる特設ブースでの魅力発信

答 教育長 いじめ問題は初期対応が非常に大事。また、学校だけでは対応が困難な相談に対する窓口の必要性を感じている。県や他市町の事例、専門家の意見も参考にしながら、対応の在り方を検討していきたい。

意見 SNSなどのネットいじめの問題は喫緊の課題。分かりやすく、そして、見やすい情報の発信を期待する。また、今後いじめなどに対応する先生方の負担軽減についても、様々な検討がなされるかと思うが、大切なのは、学校の本来の目的である子どもたちの教育環境が失われないこと。今後も様々な視点から注視していく。



【そのほかの質問】

・公共施設におけるごみと市のゼロカーボンの取組について

い知識を身につけ、命の大切さや健康の保持増進について理解を深めることを目的に、授業の中で実施。6年生の保健の授業において、生活習慣病とその予防を学習する中で、がんが日本人の死因の最上位を占めること、さらに、発展的な学習として、がんはどのような病気なのか、がんにかかりにくい生活とは、早期発見、早期治療による回復の向上、喫煙や飲酒によるがんへの影響などについて学習している。

問 人間教育の根幹といった視点について。

答 教育長 がんの専門医による講演会を開催しており、この事業には市内の養護教諭や保健体育教諭も参加し、がんに関する保健指導について学ぶ機会ともなっている。こうした学習を通して、人の命の貴さや自己管理の大切さ、他者への思いやりなど、人間教育の根幹を学べる機会でもあると考えている。

熊対策について

問 本市で緊急銃猟対応の備えはできているのか。

答 10月に鯖江市緊急銃猟実施マニュアルを策定し、11月には鯖江猟友会、鯖江警察署、市の3者による緊急銃猟の机上訓練を実施し、実際に出射した際の対応手順について、過去の目撃事例を基に具体的に確認した。今後は国や県の指針に基づき、安全かつ迅速に緊急銃猟が実施できる体制づくりを進める。

新金谷トンネルの今の状況について

問 新金谷トンネルの現在の整備状況と課題は。

答 令和7年度の重要要望により、重点事項として県に対し強く要望している。しかし、市境をまたぐ計画道路であることから、隣接する福井市とも連携を取り、引き続き情報共有し意見交換を行っていきたい。

ここが聞きたい!

一般質問

一般質問とは?

市の様々な課題等について、議員が市長や理事者に対して考えを聞くものです。議員は政策提言も含めて質問することができ、内容は自由です。

ページ	質問者	質問内容	日程
P.12	ふくはら としひろ 福原 敏弘	1. 国税・地方税について / 2. 鯖江市の公共施設の見直しについて / 3. 鯖江市重点要望について	12/8 午後
P.13	さかい ゆきこ 酒井 友季子	1. 多様化したいじめ問題の対応と教員負担軽減策について / 2. 公共施設におけるごみと市のゼロカーボンの取組について	
P.13	かとう まさる 加藤 優	1. 带状疱疹ワクチン接種について / 2. 市民後見人制度の活用促進と成年後見人等送付先住所変更の一括手続について / 3. 小・中学校におけるがん教育について / 4. 選ばれる鯖江市になるためのビジョンについて	12/9 午前
P.13	ほりかわ ひでき 堀川 秀樹	1. 継ぐ×創るプロジェクトについて / 2. 熊対策について / 3. 原発周辺地域支援について / 4. 新金谷トンネルの今の状況について	
P.14	えんどう たかし 遠藤 隆	1. 終活支援について	12/9 午後
P.14	だいもん よしかず 大門 嘉和	1. 交通環境の整備 / 2. 雫陽会館複合化施設整備計画	
P.14	つちだ ひかる 土田 光	1. 鯖江市の保育体制について / 2. 鳥獣対策について	
P.15	きむら あいこ 木村 愛子	1. 「女性活躍から自分活躍へ」について / 2. 鯖江市森づくり計画から / 3. 地方創生の新たなロールモデルに	12/10 午前
P.15	にし ゆか 西野 有香	1. 学校給食について / 2. DX推進と窓口開庁時間短縮について / 3. 持続可能な協働運営と職員の働き方について	
P.15	とうい ただよし 東井 忠義	1. 教育を市政の大きな柱に / 2. 地区避難所運営計画または地区防災計画の策定について / 3. 鯖江市西部の治水について	12/10 午後
P.16	そら よしひで 空 美英	1. 神明苑の今後について / 2. 安心安全のまちづくりについて / 3. 動物愛護について / 4. ヤングケアラーについて / 5. ゲートキーパーについて	
P.16	かえりやま あきお 帰山 明朗	1. 本市の今後の財政見直しと次年度の予算編成について	12/10 午後
P.16	たなか よしゆき 田中 良幸	1. 外出支援サービスについて / 2. 鯖江駅周辺交通社会実験について	

※質問内容のうち青字で下線が引かれたタイトルは、以下に詳細を掲載しています。



ふくはら としひろ
福原 敏弘 (さばえ結の会)



国税と地方税の暫定税率、重点支援地方交付金、小学校の給食無償化の歳入、歳出について

問 地方揮発油譲与税の配分方法と例年予算は。

答 総額のうち58%が都道府県、42%が市町村に譲与。配分基準は道路延長と道路面積に応じて算出され、例年の予算額は約5,800万円である。

問 本市の重点支援地方交付金の活用方法は。

答 おこめ券といった限定支援でなく、物価高騰の影響を受けている市民の生活を幅広く下支えできる事業を検討している。

問 市の小学校の給食費の現状は。

答 保護者には食材費を給食費として負担していただいている。平均で月額5,800円に対し月額1,000円の補助をしている。米価の高騰によってさらなる値上げが見込まれるが、補助を追加し、保護者の実質の負担額は、平均で月額4,800円に据え置く予定である。

問 令和8年度当初予算の見直しは。

答 国の概算要求では令和7年度と同水準を確保する方針が出されている。サンセット方式の考え方を取り入れ、一定期間実施した事業の見直しを進めるとともに、事務事業評価で低評価となった事業や、決算で不用額が多かった事業についても見直しルールを設け、令和8年度当初予算に反映していく。ただし、費用対効果だけでは判断できず、必要性が高い事業もあるため、市民にとって喜ばれる事業かを最優先に考え、予算編成に取り組んでいく。



きむら あいこ
木村 愛子 (市民創世会)



「女性活躍から自分活躍へ」について

問 市役所の女性管理職割合は全国トップ。誰もが幸せを実感できる、自分らしく活躍できる環境整備をお尋ねする。

答 副市長 人口減少や少子高齢化が進む今日において、女性に限らず、子どもや若者、働く世代、障がいのある方、高齢者など、全ての市民が自分の力を発揮し、地域社会の担い手として活躍できる環境づくりがますます重要。市では、「女性活躍」から発展させ「自分活躍」という理念を掲げ、全ての市民が自分らしさを発揮し、主体的に行動し、地域の中で役割と居場所を見いだせる社会の実現をめざす。具体的には、学校教育、社会教育の充実や、子どもたちの夢の応援、学生連携や



にしの ゆか
西野 有香 (SABA LABO)



学校給食について

問 鯖江市の自校給食は、温かさや地産地消、食育の面で大きな価値がある。物価高の中でも、質の低下があってはならない。

答 課題はあるが、今後も自校給食を維持し、給食の質の確保に努める。

問 アレルギー等で給食を食べられず、弁当を持参する子どもへの給食費無償化に関する配慮は。

答 給食費相当分を補助する方向で検討している。

問 学校給食畑は、地域の方が子どもたちに作物の育て方や季節の移り変わりを伝える、鯖江らしい食育の場。活動量や負担に差がある中で、一律支援では限界がある。実情に応じた支援が必要では。



とうい ただよし
東井 忠義 (市政新風会)



小中学校教育について

問 小中学校教員の負担軽減策は。今後目指す学校像は。

答 児童生徒を個別に支援するための学校生活・学習支援員を市内全小中学校15校で47名配置。加えて、教員の業務サポートを行う学校運営支援員を全校に1人ずつ配置。さらに中学校では、休日部活動の地域展開や部活動指導員の配置を実施。また、ICT活用による事務作業の効率化を図っている。今後の学校運営について、国は、地域における専門性を持つ人材と協働する次世代型チーム学校への転換を示している。本市も、国や県の施策や他市町の事例について情報を集めながら、取り組んでいきたいと考えている。

市民主役のまちづくり推進、障がいのある人への就労支援の充実、誰もが安心して過ごせる居場所づくりの推進等の取組を継承し、発展させて、包摂的な地域づくりを進めていきたい。

問 山際での獣害対策も大切だが、山で生息する動物が人里に下りてくるのは論外。鯖江市森づくり計画の内容と進め方は。

答 森林の多面的機能を発揮させるために、機能ごとに森林整備に関する方針や方法などを定めたもの。市東部エリアには、自伐型林業などに取り組んでいる団体が3団体あり、このような取組を検討している新たな事業体の参考になるよう、鯖江市森づくり計画を広く周知し、様々な方を支えられるよう努める。

意見 地域おこし協力隊で、林業に意欲的な方の力を借りることなど、次年度に向けて検討を要望する。

答 学校給食畑は市内全校で実施。農業体験や地産地消に大きな役割を果たしている。ボランティアの高齢化などの課題も踏まえ、各校の実情を丁寧に把握し、活動が続くよう必要な支援を行っていく。

【そのほかの質問の主旨】※詳細はQRコードから

DX推進と窓口開庁時間短縮について

「行かない市役所」で市民の利便性向上。また、職員の超過勤務時間の削減と業務効率化の観点から、DXのさらなる推進と開庁時間の在り方検討を提案。

持続可能な協働運営と職員の働き方について

市民主役の理念を継承し、職員の働き方や業務負担を適正化していくために、イベント対応における職員の関わり方をどのように改善していく方針かを質問。

個別避難計画と地区防災計画等について

問 全町内における要支援者個別避難計画策定の取組状況と課題は。また、防災訓練等の実施状況は。

答 令和4年度から令和7年11月末までに、153町内中151町内が取り組んだ。課題は今後協議会で総括するが、介護のケアプランや平常時からの地域とのつながりや見守りの仕組み(ご近所福祉ネットワーク活動)との連携が必要であると認識している。町内での防災訓練等の防災活動について、全て把握はしていないが、令和6年度は、3地区、24町内が取り組んだ。出前講座の実績は、令和6年度が6件となっている。

意見 住民主導による地区防災計画や地区避難所運営計画等の策定が重要であり、積極的に策定を推進されたい。



えんどう たかし こうめいどう
遠藤 隆 (公明党)



終活支援について

問 終活支援は、地域包括ケアシステムが目指す、高齢者の最期の実現を支える基盤と考える。地域包括ケアシステムは、医療・介護・生活支援・見守りなど終活支援と関わりが大きい。地域包括ケアシステムの中で、市は終活支援をどのように位置づけているのか。

答 終活支援については、本市の第9期介護保険事業計画等で位置づけている。計画では、高齢者一人一人がどのような生活を望むのか、人生をどのように終えていきたいのか、また、家族がどのように支えていくのか、個人の価値観や生き方をベースに住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる



だいもん よしかず せいせいかい
大門 嘉和 (清鯖会)



嚮陽会館複合化施設整備計画について

問 この計画は、当初約25億円の概算見積りから徐々に計画が膨らみ、中庭の室内化、屋上デッキの設置、それに伴うエレベーターの改修等が加わり32億4,000万円にも膨らんでいる。定例記者会見において、この事業の増額について容認したとも受け取れる発言をしているが、市長の見解は。

答 市長 この事業は子どもたちの遊び場、市民活動拠点、多目的ホールなど、複数の機能を有した本市で初めての複合施設として改修するものである。鯖江のランドマークにふさわしい整備を実施していきたいと考えている。しかし、無制限に事業費の増額を容認するものではなく、職員と設計事業者



つちだ ひかる ゆい かい
土田 光 (さばえ結の会)



詳細は、右上のQRコードから
YouTubeでご覧ください。

1. 鯖江市の保育体制について

- ・令和3年と令和7年を比較して保育士は何人増えたのか
- ・保育所に入れたいのに入れていない人の実数
- ・今後の目標

よう、医療・介護予防の提供体制の整備や、住まい、生活を一体的に提供できる仕組みである地域包括ケアシステムの構築を目指す位置づけている。地域包括支援センターにおいては、終活に関する相談を受け付けてお



り、財産管理や介護サービス利用の不安に対して成年後見制度の利用を支援している。また、在宅医療と介護の連携として、医療・介護の多職種間の連携推進や、かかりつけ医の普及などに取り組んでいる。高齢者が最期まで安心して暮らせる地域づくりを目指していく。

～さばえ笑顔で安心プラン～

が知恵を出し合い、可能な限り事業費縮減に取り組んでいる。また、材料費や人件費の高騰が避けられない中、財源の確保に努め、市の実質的な負担を少しでも軽減することが重要である。国や県の補助金の活用に加え、企業版ふるさと納税など、あらゆる財源の確保に向け、職員と知恵を絞り、私自身が先頭に立って全力で取り組みたいと考えている。



撤去され室内化される中庭と竹林

2. 鳥獣対策について

- ・捕獲数の今後の目標
- ・埋める方法について
- ・グリーンレーザーやドローンの導入について市の考え
- ・緊急情報発信手段としての公式LINEの運用と今後の目標

議案と議決結果

議案番号	件名	議決結果
【8月27日提出・11月26日議決】		
議案第54号	令和6年度鯖江市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第55号	令和6年度鯖江市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	//
議案第56号	令和6年度鯖江市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	//
議案第57号	令和6年度鯖江市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	//
議案第58号	令和6年度鯖江市総合開発事業特別会計歳入歳出決算の認定について	//
議案第59号	令和6年度鯖江市水道事業会計決算の認定について	//
議案第60号	令和6年度鯖江市公共下水道事業会計決算の認定について	//
議案第61号	令和6年度鯖江市農業集落排水事業会計決算の認定について	//

【11月26日提出・12月19日議決】		
議案第69号	令和7年度鯖江市一般会計補正予算(第4号)	可決
議案第70号	令和7年度鯖江市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	//
議案第71号	令和7年度鯖江市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	//
議案第72号	令和7年度鯖江市水道事業会計補正予算(第2号)	//
議案第73号	令和7年度鯖江市公共下水道事業会計補正予算(第1号)	//
議案第74号	令和7年度鯖江市農業集落排水事業会計補正予算(第1号)	//
議案第75号	鯖江市乳児等通園支援事業の設備および運営に関する基準を定める条例の制定について	//
議案第76号	鯖江市印鑑条例および鯖江市個人番号カードの利用に関する条例の一部改正について	//
議案第77号	鯖江市長等の給与および旅費等に関する条例および鯖江市議会の議員の議員報酬および費用弁償等に関する条例の一部改正について	//
議案第78号	鯖江市一般職の職員の給与に関する条例および鯖江市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について	//
議案第79号	鯖江市水道事業給水条例および鯖江市下水道条例の一部改正について	//
議案第80号	鯖江市嚮陽会館等における指定管理者の指定の期間の変更について	//
議案第81号	鯖江市尾花キャンプ場における指定管理者の指定の期間の変更について	//
議案第82号	鯖江市環境教育支援センターにおける指定管理者の指定について	//
議案第83号	鯖江市多機能型健康福祉施設神明苑における指定管理者の指定について	//
議案第84号	鯖江市文化センターにおける指定管理者の指定について	//
議案第85号	市道路線の認定について	//
議案第86号	土地改良事業(集落基盤整備事業鯖江第2地区)の計画変更について	//
議案第87号	土地改良事業(集落基盤整備事業鯖江第3地区)の施行について	//
議案第88号	鯖江広域衛生施設組合を組織する地方公共団体の数の減少および同組合規約の変更について	//
議案第89号	鯖江広域衛生施設組合の財産処分に関する協議について	//

【12月10日提出・同日議決】		
議案第90号	令和7年度鯖江市一般会計補正予算(第5号)	可決

【12月10日提出・12月19日議決】		
議案第91号	令和7年度鯖江市一般会計補正予算(第6号)	可決

【12月19日提出・同日議決】		
議案第92号	鯖江市教育委員会委員の任命について	同意

※表決が分かれた案件はありませんでした。



そら よしひで
空 美英 (市民創世会)



神明苑の今後について

問 神明苑再整備における今後の方向性は。
答 敷地内での温泉掘削の結果、泉温23度、湧出量36リットル/分、泉質は特定の物質を一定量以上含んでおり温泉に該当。国の指針に基づく療養泉にも該当しており、治療目的に利用できる貴重な地域資源である。再整備に関して柔軟な発想で取り組んでいく。
問 市民や利用者に対して今後の対応は。
答 再整備に当たっては、市民の声を丁寧に聞くことが何より重要。地域の実情や市民ニーズを、計画に反映させていく。地域に長く愛される施設を目指し、利用者や地域住民の意見



かえりやま あきお
帰山 明朝 (無所属の会)



「本市財政を取り巻く環境は厳しさを増していく」との市長発言の理由は。

答 本市は中小企業中心で大企業立地が少ない産業構造のため、経済回復による個人住民税の増加が見込まれても、歳入全体的大幅な伸びは期待しにくい。また、歳出増加も大きな要因。公共工事設計労務単価や建築資材価格の高騰により、施設整備費や維持補修費が増加している。さらに、人口減少で将来的な税収減が見込まれる中、扶助費、人件費、公債費といった義務的経費の増加が財政を圧迫するため、財政環境は今後一層厳しくなると認識している。
問 持続可能な財政運営のための規律について。また、施設改修事業費の抑制についての考えは。



たなか よしゆき そうそう
田中 良幸 (創造)



鯖江駅周辺交通社会実験の結果は

問 越前市には、車椅子利用者向けに月額上限8万円の外出支援サービスがある。鯖江市でも同様のものを検討しないのか。
答 越前市のサービスは、移動全般に車椅子が必要で公共交通機関を利用することが困難な人が対象。リフト付き車両等により居宅と医療機関等の間を送迎した際の利用料金を補助する。住民税非課税世帯は月に片道4回以内、課税世帯は月に片道2回以内という建て付けで、人工透析や末期がん治療の場合、月に片道26回以内と、頻繁な通院にも対応している。一方、鯖江市のサービスは、要介護3～5の在宅高齢者を対象に

を聞きながら、誰もが安心して利用できる施設づくりに取り組んでいく。

ヤングケアラーについて

問 ヤングケアラーの疑いがある児童の人数と、児童が行っている世話の内容は。

答 定期的な見守り支援が必要と考えられる子どもは12人。世話の内容は「幼い兄弟の世話」7件、「家事」5件、「がん・難病・精神疾患など慢性的な疾患を抱える家族の看病」3件(複数回答)。

【そのほかの質問】
 ・安心安全のまちづくりについて/ゲートキーパーについて
 ・動物愛護について

	鯖江	福井	敦賀	小浜	大野	勝山	あわら	越前	坂井
R5	17	151	54	9			16	54	55
R6	27	141	61	18	13	4	22	62	35
R7	26	95	56	15	14	17	23	12	30

県内9市の野良猫の不妊去勢手術補助事業実績
 (※令和7年度は11月末時点)

答 市債残高の減少に伴い、これまでは返す以上に借りないという原則があったが、今後は、公共施設長寿命化をはじめ公共事業の増加により、市債発行を増加せざるを得ない状況であり、従来の原則は守れないであろう。そうした中で、事業実施時期の平準化や、国・県補助金の獲得、交付税措置のある優良債の積極的活用、基金の活用など、あらゆる手だてを講じ、市債残高の急激な増加を抑えたい。今後数年間は、市債発行額が高水準で推移する見込みだが、財政健全化指標や実質的な市債負担の推移を注視し、財政悪化を招かないよう一層慎重な財政運営に取り組む。

答 市長 事業費抑制については、これから嚮陽会館複合交流施設など多くの公共施設改修に着手するが、事業費をできるだけ抑制する工夫と市の実質的負担を少なくするための財源確保に最大限努力する。

タクシー乗車券を交付するもので、年間1万8,000円を助成する。こちらは高齢者に対して、幅広く、一定の支援を行うのが目的。越前市とは対象者や支援の考え方が異なり、単純な比較は難しい。ただ、今後のニーズなどを見極めたい。

問 昨年行われた鯖江駅周辺交通社会実験の結果、それを受けての鯖江駅周辺整備計画の課題は。

答 駅東第1駐車場をロータリー化するとともに、送迎など短時間利用者のための駐車場を整備すると、鉄道利用者のための駐車可能台数が211台から115台に減少するので駐車台数の確保が課題。東口第1、第2、第3駐車場は今後も使用していきたいと考えている。また、西口の駅前道路を駐停車禁止とした場合、夜間の列車到着時に駅前駐車場が満車となる可能性が高く、駅前駐車場の収容力も課題。

令和8年1月20日～21日に、議会運営委員会と正副議長で先進地を視察しました。

■ 福井県敦賀市 … 予算決算常任委員会の運営、仕組みについて

予算・決算審査の一層の充実を図るため、予算決算常任委員会を設置し、適正な審査を行っている敦賀市を訪問し、その運営方法や審査手法について調査した。当日は、当初予算に係る事前説明の進め方や、予算決算常任委員会における審査の流れについて説明を受けるとともに、質疑の手法等について質問を行い、具体的な運営上の工夫や留意点を確認した。



■ 富山県砺波市 … 議員報酬引き上げ、政務活動費の廃止、および議員定数削減について



市の人口減少や議員のなり手不足が深刻化する中、議会の持続可能性を確保するため、報酬体系や議員定数など抜本的に見直すべく、議員報酬の引き上げ・政務活動費の廃止・議員定数の削減という複数の課題を一体的に解決する取組を実施した砺波市議会の先進事例について学んだ。

本会議を見よう！

市役所の議場で

鯖江市議会は、市役所の議場で傍聴することができます。



こしの都TV9チャンで

こしの都TV9チャン(旧丹南ケーブルテレビ)で生中継・録画放送を行っています。



You Tubeで

YouTubeの鯖江市議会チャンネルで、動画を配信しています。
*下のQRコードまたは各議員の質問欄に掲載のQRコードを読み取ることで視聴できます。



会議録で

鯖江市議会の会議録検索ページから、会議録の閲覧ができます。
*掲載までに時間がかかる場合があります。順次掲載いたしますので、ご了承ください。

1月29日に臨時会を開催し、市提出議案1件を可決し、専決処分1件を承認しました。

提出議案

■ 議案第1号 令和7年度鯖江市一般会計補正予算(第8号)・・・8億3,960万円

主な事業	補正額 ※端数処理をしています。	主な内容
物価高騰対策事業	8億3,467万円	<ul style="list-style-type: none"> ○物価高騰対応臨時給付金事業 【給付対象】 ①非課税世帯 10,000円(現金給付) ②65歳以上 15,000円(現金給付) ③19～64歳まで 10,000円(電子マネー) ○生産性向上設備等導入支援補助金 省力化・合理化を図る先端設備の導入に係る経費を補助 ○つつじバス運行支援事業 ○福井鉄道福武線燃料価格高騰対策支援事業 ○地域コミュニティ省エネ化推進事業 町内公民館内の照明器具LED化、省エネ空調機器取替等に係る費用を補助
その他	493万円	○地域子ども・子育て支援事業、保育所等における事業継続支援事業

■ 議案第2号 専決処分の承認を求めることについて
(令和7年度鯖江市一般会計補正予算(第7号))・・・1億2,500万円

主な事業	補正額	内容
衆議院議員総選挙・最高裁国民審査費	2,500万円	衆議院解散に伴う、衆議院議員総選挙・最高裁判所裁判官国民審査に係る事務諸経費
道路除雪費	1億円	道路の除雪作業に係る委託料

議案と議決結果

【1月29日提出・同日議決】

議案番号	件名	議決結果
議案第1号	令和7年度鯖江市一般会計補正予算(第8号)	可決
議案第2号	専決処分の承認を求めることについて(令和7年度鯖江市一般会計補正予算(第7号))	承認

【次回】3月定例会日程（予定）

日付	会期日程	こしの都 TV9 チャン放送予定
2月18日（水）	10時 本会議 （提案理由説明、議案先議、委員長報告、採決）	生放送（※093ch）
20日（金）		18時 再放送（2/18 本会議分）
3月2日（月）	10時 本会議（質疑、一般質問）	生放送（※093ch）
3日（火）	10時 本会議（一般質問）	生放送（※093ch）
4日（水）	10時 本会議（一般質問）	生放送（※093ch）
5日（木）	9時30分 嚮陽会館複合交流施設整備特別委員会 （特別委員会終了後） 常任委員会	
6日（金）	9時30分 常任委員会	
9日（月）	9時30分 常任委員会	
10日（火）		18時 再放送（3/2 本会議分）
11日（水）		18時 再放送（3/3 本会議分）
12日（木）		18時 再放送（3/4 本会議分）
19日（木）	10時 本会議（委員長報告、採決）	生放送（※093ch）
24日（火）		18時 再放送（3/19 本会議分）

※進行状況により時間の変更が生じる場合があります。※委員会の放送はありません。

あなたの写真で表紙をかざってみませんか

あなたの写真が表紙になります！ 鯖江市内で撮影された素敵な写真をご応募ください。
表紙に採用された方には、素敵な商品（地場商品など 5,000 円相当）をプレゼント！

- 応募する写真 … 鯖江市内で撮影された人物・風景・行事などの写真
- 応募方法 … QRコードから必要事項を入力してご応募ください
- 次号の応募締切 … 令和8年4月12日（日）



応募フォーム



次号（5月25日発行）にぴったりの
春らしい写真をお待ちしています。



ぱぴこさん



マリエックスさん



ういちゃんさん



TSURURIKUさん



ちとパパさん

編集後記

今年は丙午です。迷信ですが60年前はその迷信を信じる中で極端に出生数が減った年で社会現象にもなったほどでした。今は少子化と言われる中で、出生数が減っている状況です。国も県も市も少子化対策を強力に進めておりますが、なかなか厳しい状況です。今年は明るい未来を感じる事の出来る年になり、出生数が伸びることを願うところです。

広報委員 石川 修

今号は、決算特別委員会・12月定例会・1月臨時会の内容を掲載しており、発行時の状況と一致しない場合があります。